

2. 整備事業

1. 産地競争力の強化を目的とする取組用

(愛媛県 平成24年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニュー② 成果目標の具体的な実績①	事業実施後の状況②						メニュー③ 成果目標の具体的な実績②	特別付加費の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考						
			計画時(平成18～20年平均)	1年後(平成22年)	2年後(平成23年)	3年後(平成24年)	目標値(平成24年)	達成率		計画時(平成20年)	1年後(平成22年)	2年後(平成23年)	3年後(平成24年)	目標値(平成24年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他										
西国中央市	うま農業協同組合	野菜(里芋) ▼【野菜】▼ (ブランド品割合増加)▼ 全出荷量に占めるブランド品の出荷割合の増加	ブランド品の割合 47.7%	87.50%	92.0%	99.0%	75.6%	183.8%	ブランド産品の出荷割合が計画時より51.3ポイント増加	野菜(里芋) ▼【野菜】▼ (生産コストの削減)▼ 単位出荷量あたりの生産コストの削減	8,482円/100kg	8,481円/100kg	7,681円/100kg	6,626円/100kg	6,679円/100kg	102.9%	単位出荷量あたりの生産コストが計画時から1,856円/100kg削減	・集出荷貯蔵施設(里芋選別ライン一式) 処理能力1600t/年	8,400,000	4,000,000			4,400,000	H23.2.25	機械化履付体系の拡大による生産コストの低減や、ブランド産出(伊予美人)も、機械への転換が進んだこと、里芋選別後の小玉及び産地処分されていた小玉の規格を細分化することで、消費地へのニーズに合わせた商品規格に対応することが可能となり多様な有利販売が行えたことから、農業所得の向上が図られた。	「伊予美人」への品種転換が予定より早く完了した。また、機械化体系の確立など生産性の向上により、生産コストの低減が図られた他、選別機による出荷から、単価アップとともに、農家所得の向上となった。							

都道府県平均達成率	143.3%	「伊予美人」への品種転換及び生産コストの低減とも目標を達成し、里芋産地として維持強化を図ることができた。
-----------	--------	--

(注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。
2 要領第1の1の(2)のアの(ア)から(ウ)の場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。